



トピックス 2024年度の箕面船場まちづくり協議会の主な活動

● No Border Fest in Minoh (2024.3.31)

留学生と地域の人々、子どもたちなど多様な人が出会い、交流するイベントで、実行委員会メンバーの箕面船場まちづくり協議会は「こども未来会議」を開催しました。



● アートフェス@箕面船場ひろば (2024.10.12)

2023年に続き、2回目のアートフェスを開催。実行委員会メンバーの箕面船場まちづくり協議会は工作ワークショップとお絵描きコーナーを主催しました。



● 北急延伸開業記念祭 (2024.5.3)

北大阪急行の延伸開業記念のイベントに参加。箕面萱野駅に留め置いた車両を使って、ワークショップを主催し、多くの子どもたちが参加しました。



● 留学生まち歩き (2024.10.29)

2024年10月に来日し、大阪大学で学ぶ留学生に船場のまちを知ってもらおう「まち歩き」を開催。グループに別れてガイドした地域の人たちと交流する機会になりました。



● 留学生さよならパーティ (2024.8.9)

2023年に来日し、1年間の滞在を終え、10月に帰国する大阪大学日本語日本文化教育センターの留学生との最後の交流会を開催。多くの地域の方々も参加しました。



● イルミネーション (2024.11.26~12.26)

船場の冬の名物となりつつある船場図書館や船場広場のイルミネーションも4回目を迎え、船場広場を行き交う人が立ち止まって撮影する姿が多く見られました。



イベントのお知らせ 2025年度のイベントの予定

● 第2回 No Border Fest in Minoh (主催: No Border Fest in Minoh 運営委員会)

- ・開催日: 2025年5月31日(土) 11:00~16:00
- ・場所: 大阪大学箕面キャンパス ピロティ他

● こども未来会議 (No Border Fest と同時開催 主催: 箕面船場まちづくり協議会)

- ・開催日: 2025年5月31日(土) 13:00~16:00
- ・場所: 大阪大学箕面キャンパス

● 大阪大学夏まつり (大阪大学夏まつり実行委員会)

- ・開催日: 2025年6月28日(土) 11:00~19:00
- ・場所: 大阪大学箕面キャンパス 箕面船場阪大前駅周辺



2024年3月に開催した第1回No Border Fest in Minoh

爽やかな朝、一緒にラジオ体操しませんか?

船場広場では平日の午前7時から地域の皆さんが参加して、ラジオ体操をしています。毎朝継続して行うことで、筋力アップや効率のいい有酸素運動ができ、シェイプアップにもつながります。

主催: 箕面船場まちづくり協議会 開催日: 平日 時間: 午前7時~(雨天中止)
(スタンプを集めて缶バッジと交換)



ラジオ体操には留学生も参加

発行 箕面船場まちづくり協議会

〒562-0035 箕面市船場東1-8-51-302

http://www.minohsemba.com



・「まちづくり」についてのご意見をお寄せください
・「まちづくり」の仲間を募集しています
お気軽にご連絡ください



「まち知るべ006」は箕面市の2024年度夢の実支援金(みのお市民活動支援金)を受けて制作しています

子どもデザインラボ

子どもたちがデザインを体験する〈子どもデザインラボ〉

箕面船場まちづくり協議会では子ども育成事業として、子どもたちの自主性、自律性、創造性、想像性などを育むため、2021年から〈子どもデザインラボ〉の活動に取り組んできました。2024年度は4年間継続して実施してきた「GOMIで宝物をつくろう」「こども未来会議」「見学会」の3つの事業をを開催しました。

・「子どもデザインラボ」は2024年度夢の実支援金交付事業です
・後援: 箕面市・箕面市教育委員会



1 GOMIで宝物をつくろう 〈アップサイクルワークショップ〉

「アップサイクル」は、不要になったモノを新しくデザインして価値あるものに作りかえることです。プラスチックやビニールレザーなど色々な廃材を使って、バッグやペンケース、アクセサリなど、自由な発想でモノづくりにチャレンジし、ものづくりを楽しみながら環境について日常生活の中で何が出来るか考えるきっかけにします。

- ・開催日: 2024年10月19日(土)・11月9日(土)・11月16日(土)
- ・会場: 箕面市立市民ギャラリー「チカノバ」
- ・対象: 小学3年生~中学生



2 こども未来会議 〈こんな図書館がいいなあ〉

「こども未来会議」は子どもたちが課題を見つけ、グループで解決策を考えるワークショップです。子どもたちが疑問に感じたことをテーマにして、考える力、探究心を養います。またグループワークによって多様な考えがあることを知る機会になります。子どもたちにとってこれから必要となる「自分で考える」「デザインする」「未来を描く」ことを体験します。2024年度は船場図書館を「探検」し、気づきから課題を発見、課題を解決するアイデアを出すことによって、子どもたち自身で「こんな図書館がいいなあ」を考え、提案発表しました。

- ・開催日: 2025年2月16日(日)
- ・会場: 箕面市立船場図書館
- ・対象: 小学3年生~中学生
- ・協力: 箕面市立船場図書館



3 見学会 〈マンション建設作業所見学会〉

建設中のマンションの工事現場を見学することによって、子どもたちがどのように工事が行われているか、現場ではどんな仕事をしているかを学ぶとともに、まちの変化を直接肌で感じて未来のまちをイメージしました。2022年に開催した「新駅見学会」に続く「新しく生まれるまちを見つめていこう」のイベントです。

- ・開催日: 2024年11月23日(土)
- ・会場: 竹中工務店現場事務所・マンション建設作業所(船場)
- ・対象: 小学3年生~6年生
- ・協力: 株式会社竹中工務店大阪本店



1 GOMIで宝物をつくろう アップサイクルワークショップ



小学生がビニールレザの廃材を使って作ったポーチやコインケース

使う材料は普段の生活から出るペットボトルや製品のパッケージなどの廃棄物(GOMI)、そして企業から提供いただいた包装フィルムやビニールレザ、ナイロンシートなど多様です。そのような廃材はちょっとした工夫でコインケースやポーチ、ペンケースなどの日用品に生まれ変わります。

私たちの身の回りには多くの廃材や端材があります。また企業が製造する製品の材料や包装資材の中にも多くの廃棄されるものがあります。そのような材料を使って新しい価値を生む「アップサイクル」を子どもたちが体験するワークショップです。環境問題を学びながら、ものづくりの楽しさを知ってもらいます。



制作に集中する子どもたち

保護者のご感想

- ・自宅で作ることがない(時間がない・道具がない)ので、このような機会は嬉しい
- ・子どもが普段とは違う真剣な顔で集中しているのを見ることができた
- ・子どもが集中して、楽しそうだった 目がキラキラしていた
- ・自分で自由に考えてつくっていた
- ・このような機会、こんなワークショップがもっとあればいい
- ・また参加したい

2 子ども未来会議 こんな図書館がいいなあ

子ども未来会議のプロセスはデザイン思考に基づいています。デザインは多様な視点で気づき得て、人を理解し、課題を発見し解決策を考えることです。子どもたちが「未来会議」を体験することによって、多様な見方があり、様々な視点でいろんなアイデアを発想する「デザインすること」を学びます。2024年度は「こんな図書館がいいなあ」をテーマに、身近な図書館を探検し(フィールドワーク)、いろんな気づきから課題を設定し、解決策を考えるグループワークを行いました。

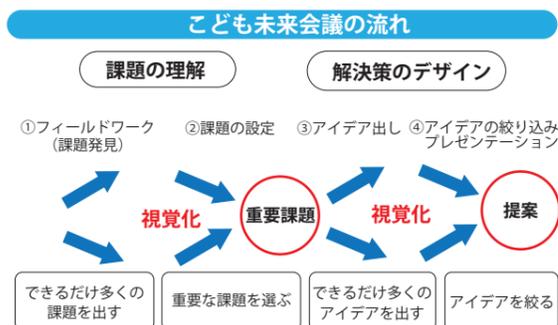
気づき ▶ 課題の設定 ▶ 解決策のアイデア展開 ▶ 提案

①フィールドワーク(気づき)

船場図書館をグループで探検し、気づいたことや気になったことなどを発見します。そしてグループで気づいたことを話し合い、共有します。メモがいっぱいになるほど多くの気づきがあったようです。



①フィールドワーク(図書館内を探検)



②課題の設定

発見したこと、気づいたことから解決したいテーマや課題についてグループで話し合い、テーマを決めます。テーマとどうしてそのテーマに決めたのかをみんなの前で発表します。



②課題設定 発見した課題について意見交換し、課題を発表

③アイデア出し

設定したテーマや課題をどうすれば解決できるか、グループ内でいろんなアイデアを出し合います。



③課題を解決するアイデアを出し合う ④アイデアを発表

④アイデアの絞り込みとプレゼンテーション

みんなで出し合った多くのアイデアの中から実現したいアイデアを選び、絵にします。そして、みんなの前でそのアイデアを発表します。

「子ども未来会議」に参加した子どもたちは、最初は緊張していましたが、グループワークが進むにつれて学年を超えた自由に活発な意見交換ができるようになりました。

保護者のご感想

- ・子どもたちが意見を出し合って、初めて出会った人どうしなのにグループでまとまって素晴らしい
- ・学校では体験できないことがたくさんあり、本人も生き生きしていた
- ・このような交流や自由に意見を言える場が必要、これからも参加したい
- ・多様なひとたちがグループでワークショップを体験することができてよかった
- ・子どものこれまで見たことのない一面が見えた(積極的に意見を言っていた)



3 見学会 マンション建設作業所見学会



クイズで楽しく工事について学びました

見学した現場は箕面船場阪大前駅前で施工中のマンションです。見学会は午前・午後の2回に分けて実施し、児童35人、保護者35人が参加しました。現場では子どもたちがタワークレーンの無線指示や左官モルタル体験を行い、見学後はお絵描きワークショップを開催、現場で働いている方々へのメッセージを絵にし、後日建設現場に掲示しました。子どもたちはわくわくして参加していました。



建設現場ではモルタル塗りを体験



地上からタワークレーンのオペレーターに無線で指示する体験も



子どもたちの描いた絵やメッセージを建設現場に掲示